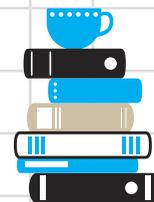


事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター坂出



○事業所名	COMPASS発達支援センター坂出			
○保護者評価実施期間	2025年9月11日		～	2025年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2025年9月5日		～	2025年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月15日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れておられます。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	ご利用者様が楽しみながら通っていただける事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	各エリアの事業所と連携が図りやすく、他事業所の児童との交流を図ることができます。また、職員も他事業所の児童と関わることで、異なる視点から療育や支援方法について学ぶ機会となっております。	イベントや行事を合同で実施し、事業所間での交流の機会を設けております。状況に応じて他事業所の児童に来所してもらう場合や、こちらから訪問するなど、さまざまな形で交流をおこなっております。	今後も各事業所との連携を図りながら交流を深め、児童同士の関わりや職員の学びの機会を広げられるよう努めてまいります。
3	小学校1年生から高校生まで幅広い年齢の児童が利用できるため、年齢の異なる児童同士が関わりを持つことができる環境となっております。	年上の児童が年下の児童に教えたり助けたりする関わりを通して、思いやりや責任感が育まれるよう配慮しております。また、年下の児童にとっては年上の児童の姿が目標となり、新しい考え方や遊び方を学ぶ機会につながるよう支援しております。	年齢や発達段階の違いを理解しながら互いに関わることで、相手に合わせた伝え方や関わり方が身につくよう支援を継続してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	高校生年代の利用ニーズはありますが、放課後等デイサービスの受入枠が限られています。	在籍していても利用頻度が少ない児童がいることなどが要因として考えられます。また、同年代の利用児童が少ないことにより、交流の機会が限られていることも一因となっております。	中学生から高校生年代の利用ニーズを踏まえながら、進路や将来を見据えた支援について検討してまいります。また、就労支援事業所等と連携し、療育の一環として作業体験や進路に関する情報提供ができるよう努めてまいります。
2	地域との交流や、認定こども園・保育所・幼稚園・放課後児童クラブ・児童館・地域の他の児童との交流の機会は現状できておりません。	今後は地域との交流や関係機関との連携について、状況を踏まえながら検討してまいります。	地域の行事への参加などの機会はありますが、各ご家庭の利用状況や保護者様のご希望の違いもあるため交流の機会が限られているのが現状です。今後は状況を踏まえながら、無理のない範囲で地域との関わりを検討してまいります。
3			

